

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成16年10月28日(2004.10.28)

【公表番号】特表2000-502089(P2000-502089A)

【公表日】平成12年2月22日(2000.2.22)

【出願番号】特願平9-522460

【国際特許分類第7版】

C 0 7 K 5/062

A 6 1 P 43/00

A 6 1 K 38/00

A 6 1 K 38/04

C 0 7 K 5/078

C 0 7 K 5/083

C 0 7 K 5/103

C 0 7 K 5/117

【F I】

C 0 7 K 5/062

A 6 1 K 31/00 6 4 3 D

C 0 7 K 5/078

C 0 7 K 5/083

C 0 7 K 5/103

C 0 7 K 5/117

A 6 1 K 37/02

A 6 1 K 37/43

【手続補正書】

【提出日】平成15年11月17日(2003.11.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

手 続 補 正 書

平成15年11月17日

特許庁長官 今井 康夫 殿

1. 事件の表示

平成9年特許願第522460号

2. 補正をする者

事件との関係 特許出願人

名称 アーダナ・バイオサイエンス・リミテッド

3. 代 理 人

〒107-0052

住所 東京都港区赤坂1丁目9番15号

日 本 自 転 車 会 館

氏名 (6078)弁理士 小田島 平 吉

電話 3585-2256



4. 補正命令の日付 なし (自発)

5. 補正の対象

別紙のとおり

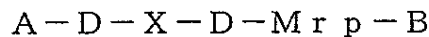
方 式 査 査



別紙

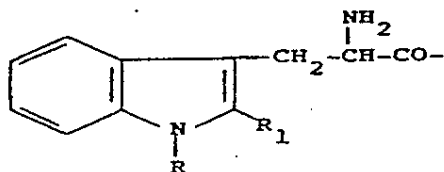
〔請 求 の 範 囲〕

1. 式



式中、Aは水素、2-アミノイソブチリル、4-アミノイソブチリルであり、Dは右旋性異性体に関し、XはMr pであって、

Mr pは式



ここで、Rは水素、CHO、SO₂CH₃、メシチレン-2-スルホニル、PO₃(CH₃)₂、PO₃H₂であり、R₁はC₁-C₃アルキル基である、

で示される2-アルキルトリプトファンを意味するか、

或いは

XはSer (Y)

ここで、Yはベンジル、p-クロロベンジル、4-メトキシベンジル、2, 4, 6-トリメトキシベンジル、t-ブチルである；

の保護されたセリンの残基、であり、

BはNR₂R₃

ここで、R₂およびR₃は、同一もしくは異なることができ、水素またはC₁-C₃アルキル基、OR₄基であり、ここで、R₄基は水

素または C_1-C_3 アルキルであるか、或いは、
Bは $C-Lys-NH_2$ 基であり、ここで、CはPheまたはMrpである、
の基である、
で示されるペプチド、
または前記ポリペプチドのいずれか一つと薬学的に許容される有機もしくは無機酸との付加塩。

2. Mrpが2-メチルトリプトファン、2-エチルトリプトファン、2-プロピルトリプトファン、2-イソプロピルトリプトファンから選ばれる請求項1に記載のペプチド。

3. Mrpが2-メチルトリプトファンである請求項1に記載のペプチド。

4. Aが2-アミノイソブチリル、4-アミノブチリルである請求項1に記載のペプチド。

5. Bが $C-Lys-NH_2$ (式中、Cは上記の通りである) である請求項1に記載のペプチド。

6. 式： $GAB-D-Mrp-D-Mrp-Phe-Lys-NH_2$ を有する請求項1に記載のペプチド。

7. 式： $GAB-D-Mrp-D-Mrp-Mrp-Lys-NH_2$ を有する請求項1に記載のペプチド。

8. 式： $Aib-D-Mrp-D-Mrp-NH_2$ を有する請求項1に記載のペプチド。

9. 式： $Aib-D-Mrp-D-Mrp-NH_2$ を有する請求項1に記載のペプチド。

10. 式: $\text{Aib-D-Ser(Bzl)-D-Mrp-NH}_2$ を有する請求項1に記載のペプチド。

11. Mrpが2-メチルトリプトファンである請求項6～10のいずれかに記載のペプチド。

12. 動物中の成長ホルモンの放出を促進するのに有用な薬剤の製造のために請求項1～11のいずれかに記載のペプチドを使用すること。

13. 薬剤がヒトの医療において有用である請求項12に記載の使用。

14. 活性成分として請求項1～11のいずれかに記載の少なくとも1種のペプチドの有効量を好適には担体および賦形剤と混合して含んでなる医薬組成物。

15. 非経口的、鼻内的、経口的、制御放出的投与、皮下埋込型製剤のための組成物の形態にある請求項14に記載の医薬組成物。

16. 経口投与のための組成物の形態にある請求項14に記載の組成物。